

## 南ア月報

(2011年2月)

在南アフリカ日本国大使館

### 1. 内政関連

#### ●マイニング・インダバ開催

7日から11日、ケープタウンでアフリカ鉱山投資会議（通称マイニング・インダバ）が開催され、日本からも中山経済産業大臣政務官が出席（政務レベルが参加したのは今回が初めて）した他、アフリカの鉱山に関心を持つ6000の派遣団が世界各国から集まった。会議では兼ねてから懸案となっている南ア鉱山国有化についても話し合われたが、シャバング鉱物資源大臣は、国有化は南アにとって最良の選択肢ではないと発表した。一方、ズマ大統領は10日の施政方針演説において国营鉱山公社設立の意向を示した。同公社は3月末を目途に始動される見通しで、鉱山国営化の可能性の是非を問う試金石となる。

#### ●ズマ大統領、2011年施政方針演説発表

10日、ズマ大統領は、ケープタウンの議会において、大統領就任後3度目となる施政方針演説を行った。演説は雇用創出に力点を置いたもので、各界からは、貧困削減のため雇用創出に国の力を結集させようというズマ大統領の呼びかけについて「方向性は正しい」との評価が上がった。なお議場内には、ムベキ元大統領（大統領辞任後初の臨席）、デ・クラーク元大統領、ピンAU委員長らの姿が見受けられた。

#### ●トラック運転手のスト

14日、トラック運転手が主体となった運輸業労働組合のストライキが始まった。労働者側は今後2年間で20%の賃上げを要求したが、交渉相手の道路運送雇用者協会（RFEA）は15%を提示した。ストは次第に暴力を伴ったものに発展、ストに参加していないトラック運転手や一般市民が、スト参加者に襲撃されるなどして30名以上が傷を負った。

23日、2011年に9%、2012年に8.5%の賃上げを行うとの合意の下、ストは収束した。

#### ●ヌツアルバ国際関係・協力次官の辞任

17日、南ア国際関係・協力省はアニャンダ・ヌツアルバ次官の3月いっぱいでの辞任を発表した。同次官は2003年9月から約7年間現職を務めたが、それ以前は1995年5月から保健省で次官、副次官を務めた。

#### ●パブリック・プロテクター、チェレ警察長官を有罪と発表

22日、マドンセラ・パブリックプロテクターは、プレトリアにある高級物件を南ア警察の建物として不正にリースしたとし、ツェレ警察長官を有罪とする調査結果を公表した。マドンセラの報告書によるとツェレ長官は建物の所有者であるロックス・シャバング氏と、適切な入札を経ずにリース契約を結んだとされており、南ア警察の会計官も不正を働いた罪で有罪と判定された。マドンセラは国庫に対しリース契約の見直しを要請した。ツェレ長官は同罪状を一切否定している。

## ●ハウテン州の高速道路有料化

現在、ハウテン州の高速道路有料化に向けて着々と料金徴収ゲートが建設されている。通行料金は1キロ50セントを基準に通行量及び時間帯によって変動する仕組みとなっているが、今月に入り、同システム導入が貧困層にとって大きな負担になるとし、議論が活発化した。議論が進められる中、同システム導入に当たって料金設定や導入自体について事前の相談を受けなかった関係者が多くいることが判明、モコンヤネ・ハウテン州首相も、21日の州の施政方針演説の中で、通信大臣から価格設定について相談を受けていなかったことを語った。これを受け、マフラレラ運輸次官からは料金見直しを検討すると発表があった。

## 2. 外政関連

### ●南ア海軍戦艦の展開

1日付当地紙は、ソマリア海賊の活動が南下してきていることに鑑み、南ア政府が新艦「SAS Mendi」を含む海賊対策のための艦を2週間以内にモザンビーク海峡に展開し、1ヶ月以上に亘り同地域の巡回警備にあたる模様である旨報じた。その後、14日付当地紙は、同戦艦が同海峡に展開され海賊対策活動への参加を開始したことを報じている。

なお、南ア海軍は、コートジボワールにおいて万一有事が発生した場合の在留南ア人救出を想定して、軍艦「SAS Drakensberg」を1年半ばに同国沖合に向けて出航させており、同艦は2月末に南アに帰艦予定である。

### ●エジプト情勢に対する南ア政府反応

2日、ANCは、チュニジアおよびエジプトを中心とする北部アフリカ政治情勢を深く憂慮する旨の声明を発表した。執筆者はエブラヒムANC国際局長（南ア国際関係・協力副大臣）。同声明では、政治権力は統治される者の真の希望を反映して初めて正統たりえるということをアフリカの指導者たちは認識すべきであり、民主化プロセスによって、エジプト国民は、必要なすべての市民的・政治的権利を享受できるようになるべきであると述べられている。

なお、これに先立つ1月31日には、南ア国際関係・協力省が、現下の危機解決は間違いなくエジプトにおける新たな時代に道を開くものであるとの声明を発表した。

また、ANCは、23日にも、リビアにおける民間人の犠牲を懸念し、リビア政府に対し平和的解決を求めるとともに、AUや国連に対してリビア政府への関与を求める声明を発表した。

### ●IBSA閣僚級会合

11日、ニューヨークでIBSA閣僚級会合が開催され、クリシュナ・インド外相、パトリオッタ・ブラジル外相、サンク南ア国連常駐代表が協議を行った。会合では、IBSA3国の安保理における連携や南南協力の重要性等につき話し合われたほか、安保理改革における具体的成果を達成するための連携に対するコミットメントが確認された。

### ●コートジボワール問題へのズマ大統領の取り組み

20日、ズマ大統領は、コートジボワール危機解決のためのAUハイレベル・パネルの一員として、20日にモーリタニア、21-22日にコートジボワールを訪問した。モーリタニアではAU会合に出席し、専門家チームからの報告を受けた。さらに、21日には

コートジボワール入りし、関係各所との会談を行った。マシャバネ国際関係・協力大臣が同行した。

#### ●「地球の持続性に関するハイレベル・パネル」第2回会合

24-25日、ズマ大統領およびハローネン・フィンランド大統領を共同議長として「地球の持続性に関するハイレベル・パネル」第2回会合がケープタウンにて開催され、わが国からは鳩山由紀夫前総理が出席した。同会議は年末のCOP17ダーバン会合に向けたトーン・セッティングを目指すものであった。

### 3. 経済関連

#### ●経済成長

南ア統計局によると、2010年の第4四半期の経済成長率は第3四半期に比べ4.4%増と予想以上の伸び率を示し、2010年の経済成長率は不況であった前年の1.7%を上回り2.8%となった。南ア統計局は南アが不景気から脱却したとの見方を示し、ブライト社のエコノミストはランド高が競争力を制限している中で鉱業と製造業が経済を牽引していると指摘した。

#### ●貿易収支

南ア歳入庁によると、12月の南アの貿易黒字は11月の84億ランドを上回り103億ランドとなった。しかしこれは、輸出量が10.4%減少したのに対し、輸入量が15.9%とさらなる下げ幅を記録したことによる。鉄鉱石等の商品価格の上昇も、貿易黒字の増加の一因である。投資アナリストは、南アの経済活動は本来輸出が牽引すべきだが、ランド高に妨げられていると指摘した。

#### ●インフレ

南ア統計局によると、食料及び燃料の価格の上昇を主たる要因として、12月消費者物価指数の上昇率は前年同月比3.7%増加し、11月に比べ0.3%上昇した。英エコノミスト誌の食料価格食料価格指数によると、米ドル換算で世界食料価格は前年比38.8%増となった。シティグループのエコノミストは、インフレ傾向は続くであろうがターゲットゾーン(3%~6%)にとどまるとの見方を示した。

#### ●外貨準備高

南ア準備銀行がランド高対策としてドル買いを実施したことで、外貨準備高は1月に3.5%増となった。1月の総外貨準備高は、16億ドル増と過去10か月で最も高い増加額となり、455億ドルとなった。南ア準備銀行によるドル買いは、ある程度の成果を出していることから当分続けられることが見込まれる。

#### ●自動車販売台数・輸出台数

南ア自動車製造者協会によると、1月の新車販売は前年同月比18.6%増となり、乗用車に限っては22.1%増となった。これは、低い金利と活発な経済活動によるものと見られる。南ア産車の輸出量は前年同月比で11.5%増となった。他方ある貿易会社によると新車市場の15%は韓国車が占めているとの統計が示された。

#### ●製造業

南ア統計局によると、製造業生産高は11月に前年同月比で4.6%と大幅に増加したものの、12月は前年同月比0.2%と微増にとどまった。自動車産業の生産調整が主たる要因ではあるが、他の多くの業界も負の影響を与えている。主要なインフラプロジェクトが終了し、民間部門の投資プロジェクトも限られているため製造業は不安定であるが、南アの経済はまだ回復基調にあるとの見方もある。

#### ●財政演説

ゴードン財務相は、ズマ政権下で2度目となる財政演説を行った。雇用創出や人材育成に重点が置かれ、パテル経済開発大臣によって公表された「新成長路」とズマ大統領の2011年施政方針演説を踏まえたものとなった。予算には8,000億ランドの公共インフラにおける支出や90億ランドの雇用基金が含まれている。

#### ●SACU

SACU 共通関税収入の分配金は世界規模の経済不況の影響で減少しており、南アはレソトやスワジランドといった分配金に頼っている国への対応を迫られている。レソトへの分配金は2008年から2010年にかけて360億ランドから164億ランドにまで減少しており、スワジランドへの分配金も同時期に250億ランドから93億ランドに縮小している。

#### ●EPA

SADC、EAC及びCOMESAは、アフリカ大陸におけるEPAの締結を一つの議題として3月に第2回首脳会談を南アで開催する予定である。デーヴィス貿易産業大臣は貿易ルールを確立し非関税障壁を撤廃するには長い時間がかかるとの認識を示している。一方、難航しているEU・SACUにモザンビークとアンゴラを加えたEPA交渉は、7月を新たな締結期限として3月に再開される予定である。

## 4. 広報・文化

#### ●篠崎靖男氏指揮によるクワズル・ナタール・フィルハーモニー・オーケストラ・コンサート

17日、24日、ダーバン・シティ・ホールにおいて、フィンランド・フィルの首席指揮者及び芸術監督を務める篠崎靖男氏がクワズルナタール・フィルハーモニー・オーケストラを指揮し、計2000名の聴衆を魅了した。篠崎氏は、昨年3月にピアニスト小川典子氏及びヨハネスブルグ・フィルハーモニー・オーケストラとともに武満徹作曲の「リバーラン」等を含む日・南ア交流年記念コンサートを指揮している。本年5月19日、26日には南アフリカを再訪問し、ケープタウン・フィルハーモニー・オーケストラを指揮する予定（於：ケープタウン・シティ・ホール、午後8時～）ケープフィル・ホームページ [www.cpo.org.za](http://www.cpo.org.za)

## 5. 警備・治安

#### ●デモ活動・ストライキ活動に対する警戒

2月中、南ア国内数カ所において、トラックドライバーによる賃上げのためのストライキが相次いで発生した。労働者組合は2年間で20%の賃上げを要求していたものだが、雇用連盟側は年間7.5%の上昇しか認めないとしており、ストライキの参加者は65,000人を超えた。

また、ストライキ活動に伴い、20台以上のトラックが破壊され、治安当局等との衝突

で16人が怪我をし、30人以上の逮捕者が出た。

抗議行動は許可を受けていないものであることから、南ア当局としても、いつどこで、どのくらいの規模のストライキが発生するかは予測困難としている。